

要望しています

～ 笠岡市の未来のために～

令和5年度
当初予算要望事項

3月定例会では、令和5年度笠岡市一般会計予算の審査を行いました。慎重審議の結果、修正可決することに決定しましたが、6件の事項を要望することになりました。今後、要望事項に市がどう取り組んでいくのか、進捗状況を定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックします。



委託事業 について

委託事業については、透明性の確保を念頭に置いた、みんなが納得できる事業計画を提案すること。また、定期的に事業の見直しが検討できるよう事業成果や事業効果など、事業の中身を精査できる仕組みや判断材料を示すこと。

非常備消防 費について



消防団員報酬の事務処理について、先進事例を研究し、報酬の支払いが円滑かつ確実にできるシステムを早急に導入すること。また、消防団員の出勤に関し、地域のボランティアとしての団員の負担とならないよう事務の簡素化を含めて、団員活動を支援すること。

ひまわり認定こども園 新築事業について

ひまわり認定こども園の新築については、地元に対する説明及び関係者との協議を十分に行い、信頼を損なうことがないよう確実な合意に基づいた事業実施となるようにすること。



ふるさと納税推進事業について



ふるさと納税制度における基準を遵守し、適正な運用を行うこと。また、貴重な財源であることは理解するが、行政が儲けるという利益優先を第一主義とするのではなく、地域の生産者や事業者等が少しでも利益を上げ、成長できることに重点を置いた仕組みづくりをすること。また、ふるさと納税返礼品が選んでもらえ、市内経済の好転につながるよう、品物のPRとなるデータ等を表示するなどの工夫を行うこと。

JR笠岡駅周辺 整備事業について



長期間で多額の予算をかけている事業であるので、これまでの調査から事業の方向性を出し、しっかりと今後の計画や設計を市民に示すこと。また、市民の意見集約がされた上で利活用等の計画が進められるものと考えているが、笠岡駅南北全体の利用実態の現状に応じ、利便性の高いものとなるようにすること。



いじめ・不登校対策総合推進事業及び長期欠席・ 不登校対策システム化推進事業について

複数の事業に多額の予算をかけている割には思うような事業効果が現れていない。いじめや不登校については、ひきこもりへとつながることが危惧されることから、現在の体制を変えるとともに予算の配分を見直し、いじめや不登校に対しては18歳までの見守りが行えるような環境を整え、ひきこもりの未然防止に努めること。